



# アレクシ・ド・トクヴィルの 異文化体験

若きフランス貴族はアメリカで何を目撃したのか

2013年 5月 10日 (金) 16:00 ~ 18:00

講師：高山裕二氏 (明治大学政治経済学部 専任講師)

発題者：秋田真吾氏 (神戸大学大学院国際文化学研究科 博士後期課程)

発題題目：「群衆へのおそれとデモクラシーの肯定——ダムロッシュ『トクヴィルが見たアメリカ』を読む」

場所：中会議室 (国際文化学研究科・A棟4階403)

入場：無 料 (参加自由)

講師プロフィール 高山裕二氏

1979年生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科博士課程修了。博士(政治学)。専門は政治学・政治思想史。主要研究業績として、『トクヴィルの憂鬱——フランス・ロマン主義と〈世代〉の誕生』(白水社、2011年)などがある。

お問い合わせ先 (国際文化学研究科)

坂本千代研究室

TEL: 078-803-7425 Mail: csakamot@kobe-u.ac.jp

異文化研究交流センター (IReC)

TEL&FAX: 078-803-7650 Mail: irec@ccs-srv.cla.kobe-u.ac.jp

『南北アメリカにおける異文化の共存・葛藤・融合』第4回研究セミナー

## アレクシ・ド・トクヴィルの異文化体験

—若きフランス貴族はアメリカで何を目撃したのか—

2012年11月、白水社よりレオ・ダムロッシュ著『トクヴィルが見たアメリカ—現代デモクラシーの誕生』が翻訳刊行され、話題となっています。アメリカを知るうえでの古典的名著『アメリカのデモクラシー』の著者であるトクヴィルのアメリカ体験は、異文化接触がもたらすダイナミズムを象徴するひとつの「事件」として、いまなお私たちに多くの刺激と示唆を投げかけてくれています。このたびの研究セミナーでは、このダムロッシュの著作の訳者を講師としてお招きし、異文化研究交流センターとメディア文化研究センター共催の合評会という形式をとって、異文化の共存・葛藤・融合について考えてみたいと思います。どうぞご参加ください。

### 会場への交通

阪神電鉄「御影」、阪急電鉄「六甲」、JR「六甲道」下車。

各駅前の停留所より、神戸市バス16系統「六甲ケーブル下」行に乗車。「神大国際文化学部前」下車。徒歩3分。阪急「六甲」より徒歩で20分ほどですが、急な坂道が続きますので、上記バスのご利用をお勧めいたします。

神戸大学大学院国際文化学研究科  
異文化研究交流センター (IReC)  
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1  
<http://web.cla.kobe-u.ac.jp/group/IReC>

